

SDGs は 食品産業 に何を求めているか？

背景の共有

- ★ 2000年MDGsから10数年、新しい時代への SDGs に向けて、2014、15年には国連関係機関の食品・農業分野へのアプローチ。
彼らが我々の前で語ったこと
- ★ 2015から5年経過（+Covid-19）急ぐ国連にとって Food Systems論が切り札の1つであることは間違いない。FAOが作成したFood Systemsのコンセプト・ノートにも一文。
「 Sustainable Food Systemsは国連の定めた SDGs の中心に在る！」
- ★ そして2021年 国連 Food Systems Summit 開催

2021年2月21日 SFSS理事 小出 薫



CFS国連食糧安全保障
委員会議長の基調講演

H.E. Gerda Verburg

2015年の9月、国連が **SDGs: 2030 AGENDA for Sustainable Development** を採択する4日前、
左と右下の2人はGlobalな1食品業界の年次大会で、
SDGs を語っていた

FAOの
Dr.Tekola

Dr.Berhe Tekola, のプレゼンテーションから
FAO Director of Animal Production and Health Division

エチオピア生まれで、DLFは2度目の登場
話題は・・・
FAOの活動、Sustainable Development
Goals (SDGs)、そして、ミルクの役割について。

Dairy Sectorについての統計や報告を読むと、
「100リットルのミルクを生産するごとに2人の
雇用が生まれている。」といった表現に出会う。

酪農乳業の価値とは栄養供給だけではないのだ。それは雇用の創出でもあり、
Pro-women、つまり女性の地位を高めるものでもある。



FAOのQu事務総長

2020年秋には、FAOの事務総長 Qu Dongyu(屈冬玉)はFAOの民間との共働、
Food Systems Summit副特使 Martin Frickは、サミットを、語った

§ 1. 私達がSDGsを語り合う時、最低限確認共有したいこと、幾つか・・・

SDGs、Sustainability、Sustainable Food Systems、国連とその関係機関の行動姿勢、そして、Food Systems Summit 2021

- ① Sustainable Development を実現するには 3つの異なる Dimensions における取り組みを Harmonize させなければならない。
⇒ 3分野とは**経済的な発展**、**まっとうな社会**、そして**地球環境全般**。
先に言ってしまうと、**健全な食品システムは、栄養とエネルギーの提供だけでなく、この3つのDimensionにも正のImpactを与える・・・ということ**
- ② SDGs17項目・・・分野は多様。議論の熟度も様々。 * **“Social SDGs”** が 7項目。
* **国の発展状況により最緊急項目**が違う。 * Trade-Off の深刻さも違う。
- ③ 「Sustainable Food Systemsは国連の定めたSDGs の中心に在る!」 (FAOの文)
そして、今年9月に Food Systems Summitを開催するのはFAOではなく国連本部であるが、国連事務総長も次のように語った…… ***“Transforming food systems is crucial for delivering all the Sustainable development Goals”***

確認、幾つか(続き)

④ 国連とその関係機関の「メンバー」は各国政府代表である。

しかし、国連活動の役者はそれだけではないのである。

議論にせよ、議論の為の報告書やガイドライン作成にせよ、さらに研究活動等にもかなり(極めて) “inclusive” な(全てのStakeholderを議論と活動の場に取り込む) 進め方を根付かせている。2010年頃から変わって来た。

* 重要なAGENDAの審議に、民間事業者 (Private Sector)、Academia、市民団体その他 Stakeholderを取り込む。 * 機関ごとの年次大会や大きなForum 時に“Side Events” の提案開催を認める。 * Multi Stakeholders Partnership の哲学の徹底

Agenda2030を作成時に、既に④のinclusiveな形の議論がかなり行われた。SDGsにも多様なStakeholderグループの意見が混在している処も在る、 さらに、

⑤ 国連本部の経済社会理事会 (ECOSOC) や、FAO、WHOとその関係機関が常に特別の視線を送る相手は弱者、貧者、途上国、小規模農業・・・である。Rural Poorや、Women & Youthも。これらの人々のEmpowermentにSDGsも特別な配慮をしている。

確認、幾つか(続2)

- ⑥ ところで、国連関係機関から審議の後に発信される「決定」とか、ほとんどの「採択文」等は、どの様な性格のモノなのか？..

これらは、世界が守るべき統一的な規則や規格基準..ではなく、むしろ「指針」。

- * これを受けた各国が、その独自の歴史や置かれる状況に合わせ、Agendaの目標に向けて「自分の裁量と責任のもとで」実際の政策や、活動に映していく際に、アタマに置いておくべき重要な事柄を示唆したもの...
- * 従って、各国の実際行動は其々に異なる。しかし、どの様な考えで、何に取り組むのかについて表明及び報告は必要。勿論、Sustainable Developmentの方3つの方向へのImpactにも配慮して進める必要が有る。

- ⑦ 国連用語に気を付けよう！（会社内や業界団体内で）

- * Transformation
- * Commitment
- * Agency



(参考) 2015年9月21日 (国連総会での SDGs採択の4日前)
International Dairy Federation の World Dairy Summit 2015 に
Dr. Gerda Verburg :国連・世界食糧安全保障委員会(CFS)
の議長が登壇した。そして、次のように語り始めた……

◆ 「食糧」と「栄養」を世界中の人々に確実に届けることが
何時も私の心にある。しかし、Challenges がとても多い。

- * 今も、8億の人々が飢餓に苦しみ、1億6100万の子供が低栄養状態。
- * 大きなParadoxとして、まさに世界の多くのFarmer達自身が、十分な栄養や生計から疎外されていることが多い。 * さらに言えば、世界中で食の生産や製造に関わる人達は投資し、リスクテキングをした上で、増々強まる安全、衛生と環境に関する制約と闘い続けるEntrepreneurである。だが彼らが確信を持って仕事を継承するだけの「環境」と、彼らが果たしている役割への正しい認識も、十分出来ていない……と紹介し、
- ◆ 4日後にニューヨークの国連本部で採択される予定の“**Agenda 2030:SDGs**”に触れ、今後 CFS がどの様に、SDGsを手にしつつ、Stakeholder 達の共働参画を図りながら、飢餓と栄養不良と闘うのか、CFSの組織論とPrivate セクターへの期待を含めて語った。

◆ ここで少し現在の国連関係機関の姿勢の一例として、CFSの組織論についてまとめる

- ① CFSの組織目的 世界隅々への食糧と栄養の供給。大所高所論より、現実に存在する障害やCrisisからの脱却にも取り組む。途上国の第1次産業の発展。
- ② “Inclusive”な組織運営・・・2009年の大幅改組以降これを強調。
“Multi Stakeholder Partnership” (MSP)を構築することを通して、様々な活動でStakeholderとの「共働」を進める。
★大会や議事への参加やSide Events 実施に 3つのStatus がある・・・
 - * Members: 各国政府代表
 - * Observers: CFSがテーマによって招待する
 - * Participants: 色々発言するStakeholderとして。“Private Sector Mechanism”を形成
- ③ 一方、CFSの議論に必要な事実関係の把握と知識の交換の為の提案資料(独立した、Science-basedの)を作成し、政策策定へのヒントも与える専門家チーム:
High Level Panel of Experts (HLPE) というグループも形成。HLPE#15まで報告書作成。

以上の仕組みの中で、と Dr. Verburgは CFSの組織論について語り続けた・・・

- ★ 多様なStakeholder達との、十分な討議とネゴシエーションを経た後でなければ、意思決定を行いません。
- ★ アフリカの古い諺に、「速く行くなら 1人で行け。遠くに行くなら 一緒に行け 」
というものがあります。これこそが、国連CFSの やっていること。
CFSは、全てのステークホルダーがFood Security and Nutritionの為に協働する
“Inclusive”な、国際的で世界の政府を繋ぐ “Platform”です。
- ★ あなた方も、国連CFS活動の重要な参画者。(**Private Sector Mechanism**)
- ★ 勿論全ての参画者には **責任と Ownership** を持ってもらいたい。
自分自身でも事業を継続できる **Enabling Environment** を実現するための行動を。
- ★そして 事実関係の把握と知識の交換もしましょう。
CFSには 「ハイレベル専門家パネル:**HLPE** 」というグループがあり、これを支え、
政策作りへのヒントをくれます。

しかし、問題は複雑。色々なポイントに触れた・・・

- ☆ 消費側から見ると、世界の人口増大と都市化の中で、Nutrition-Richな食品に対する需要は増大する。しかもその生産増加を **Sustainably** に行わなければならない。
- ☆ ところで、Sustainability というのは 環境問題だけではないのです……
3つのピラーで考えることが必要。地球環境、社会、そして経済。
- ☆ 農業でも家畜産業でも、食の生産・提供の形は世界では実に多様で、各国各地で Food Security を Sustainable に確保する、1つの全てに有効なレシピー等は無い。
ところで、
- ☆ 食品を作っている人たちは農家であれ、製造業であれ、Entrepreneurです。それならば **(特に小規模) Farmer達は、今よりもっと サポートされる必要が有ります。**
- ☆ 食品産業セクターは技術とイノベーションを大切に (3つのSustainabilityの為の)
これは自助努力…… とは言っても
- ☆ 個々の事業者達が大小、1次産業2次産業に関わらず、頑張っ社会に対する役割を果たすには、それを可能にする環境(**Enabling Environment**)
が必要。まさにここに、**政府と言うモノの無くてはならない重大な役割があるのです。**

* マルチステークホルダーの協働だけが近視眼的関心を超えて、食糧と栄養の確かな供給への解決策に導くはず。

重要な姿勢は Inclusiveness、 Evidence-based、 そして Ownership

* ここに至るまで、

Agenda2030とSDGs (Sustainable Development Goals) の各項目を策定する過程で何千という関係者が参画しました。 同時にこのGoalsの採択後は全てのステークホルダーがゴール到達に責任を負うことも理解しているはずですね。

Thank you very much。

§ 2. Food Systems ? なぜ 国連が Food Systems サミットをやるのか？

◆ 国連の2015年 AGENDA 2030:SDGs17項目.....

これらの課題の、2030年までの達成(と言わないまでも確かなRoadmapが出来ている状況)が、見通せない ! 特にSDG-2(Hunger) に関しては最悪。

——>SDGsを進捗させることの中心に


Food Systemsの“Transformation”が在る !

- ◇Globalにも、特定の国・地域でも、食料と栄養の提供が上手く進んでいる場合にはSDGsのほとんどの項目(Social SDGsも)に正のImpactが発生している
- ◇きわめて幅の広い、関与する仕事の多い、そして多くの人間がそのパフォーマンスに貢献できるのがFood Systems だ。
- ☆ 国連本部にとって最重要の取組み対象は? ...例えば、Rural Poor、小規模農家、decent work に就けないwomen and youth.....こうした人々をempowerするFood Systems も目指す。

ところで、国連が語る Food Systems とは 曖昧な用語だが？

FAOによる Sustainable food systems Concept and framework

1枚スライド と 全文の表紙



Food and Agriculture Organization
of the United Nations

Sustainable food systems Concept and framework

WHAT IS A SUSTAINABLE FOOD SYSTEM?

Food systems (FS) encompass the entire range of actors and their interlinked value-adding activities involved in the production, aggregation, processing, distribution, consumption and disposal of food products that originate from agriculture, forestry or fisheries, and parts of the broader economic, societal and natural environments in which they are embedded.

The food system is composed of sub-systems (e.g. farming system, waste management system, input supply system, etc.) and interacts with other key systems (e.g. energy system, trade system, health system, etc.). Therefore, a structural change in the food system might originate from a change in another system; for example, a policy promoting more biofuel in the energy system will have a significant impact on the food system.

A **sustainable food system (SFS)** is a food system that delivers food security and nutrition for all in such a way that the economic, social and environmental bases to generate food security and nutrition for future generations are not compromised. This means that:

- It is profitable throughout (**economic sustainability**);
- It has broad-based benefits for society (**social sustainability**); and
- It has a positive or neutral impact on the natural environment (**environmental sustainability**).

A sustainable food system lies at the heart of the United Nations' Sustainable Development Goals (SDGs). Adopted in 2015, the SDGs call for major transformations in agriculture and food systems in order to end hunger, achieve food security and improve nutrition by 2030. To realize the SDGs, the global food system needs to be reshaped to be more productive, more inclusive of poor and marginalized populations, environmentally sustainable and resilient, and able to deliver healthy and nutritious diets to all. These are complex and systemic challenges that require the combination of interconnected actions at the local, national, regional and global levels.

Discover the G



Food and Agriculture Organization
of the United Nations

Sustainable food systems Concept and framework

WHAT IS A SUSTAINABLE FOOD SYSTEM?

Food systems (FS) encompass the entire range of actors and their interlinked value-adding activities involved in the production, aggregation, processing, distribution, consumption and disposal of food products that originate from agriculture, forestry or fisheries, and parts of the broader economic, societal and natural environments in which they are embedded.

The food system is composed of sub-systems (e.g. farming system, waste management system, input supply system, etc.) and interacts with other key systems (e.g. energy system, trade system, health system, etc.). Therefore, a structural change in the food system might originate from a change in another system; for example, a policy promoting more biofuel in the energy system will have a significant impact on the food system.

A **sustainable food system (SFS)** is a food system that delivers food security and nutrition for all in such a way that the economic, social and environmental bases to generate food security and nutrition for future generations are not compromised. This means that:

- It is profitable throughout (**economic sustainability**);
- It has broad-based benefits for society (**social sustainability**); and
- It has a positive or neutral impact on the natural environment (**environmental sustainability**).

A sustainable food system lies at the heart of the United Nations' Sustainable Development Goals (SDGs). Adopted in 2015, the SDGs call for major transformations in agriculture and food systems in order to end hunger, achieve food security and improve nutrition by 2030. To realize the SDGs, the global food system needs to be reshaped to be more productive, more inclusive of poor and marginalized populations, environmentally sustainable and resilient, and able to deliver healthy and nutritious diets to all. These are complex and systemic challenges that require the combination of interconnected actions at the local, national, regional and global levels.

WHY TAKE A FOOD SYSTEMS APPROACH?

CHANGING FOOD SYSTEMS

A food system must be considered in the context of rapid population growth, urbanization, growing wealth, changing consumption patterns, and globalization as well as climate change and the depletion of natural resources. The developments in food systems have yielded many positive results, especially over the past three decades in developing countries. These results include the expansion of off-farm employment opportunities as food industries have developed, and the widening of food choices beyond local staples, thus satisfying consumers' preferences in terms of taste, form and quality.

参考: FAOによる Sustainable Food Systems のコンセプトとFramework
(スライド2枚) FAO作成の「要約1頁文」の小出仮訳です

* Food systemsというのは、元々農・林・水産業に始まる食品の原料生産、集荷、加工処理、輸送流通、消費、そして製品の消費と廃棄に至る、付加価値を付けていく、互いにリンクした、「行為」と、それらを実行する担い手達の全体、そしてこの「人と行為」が育まれる、より広い経済、社会と自然環境の中の関係する部分、を全て包含するものである。

* このFood systemは幾つかのSub-systemsから成っている : 例えば農場システムであり、廃棄物管理システムであり、資源供給システムである。また、それは他のキーシステム、例えばエネルギーシステム、交易システム、健康システム等と互いに関係しあっている。だから、Food systemsの中にある構造変化が有った場合、それは別の分野のシステムで起こった変化に端を発している場合も有るのだ: 例えば、エネルギーシステムの方でバイオ燃料を増やす政策を推進するとFood systemにも非常に大きな影響を与えるといった具合に。

(次頁に続く)

* 次にSustainable food system (SFS)と言うのは、世界中の人々に食糧と栄養を安定的に供給する、それも将来世代に対してこれらを供給する経済的、社会的、地球環境上の基盤が損なわれない形で。 つまり具体的には・

- ・システム全体にprofitableであること。(経済面の持続可能性)
- ・社会全体に広く価値をもたらすこと。(社会のそれ)
- ・自然環境にとって良い、少なくとも否定的でない影響力を持つこと。(地球環境のそれ)

* Sustainable food systemsは国連の定めたSDGsの中心に在る。 2015年に採択された時、SDGsは農業とFood systemに大きな変容を求めたのだ。2030年までに世界で飢餓を無くし、食糧の安定供給と栄養改善を達成する為に。

* SDGsを達成する為に世界のFood systemsは、今よりも生産性高く、貧困状態にあるかそれに近い人々をもっと巻き込み、環境の持続と回復を支え、全ての人に健康的で栄養豊かな食事を提供出来るものに作り替えなければならない。これはとても複雑でかつ包括的な課題であって、これに取り組むためにはローカルな地域レベルにおいても、逆に大きくグローバルレベルにおいても多くの要素を結びつけた活動を組み合わせることが必要になるだろう。



WHAT IS A SUSTAINABLE FOOD SYSTEM?

Food systems (FS) encompass the entire range of actors and their interlinked value-adding activities involved in the production, aggregation, processing, distribution, consumption and disposal of food products that originate from agriculture, forestry or fisheries, and parts of the broader economic, societal and natural environments in which they are embedded.

The food system is composed of sub-systems (e.g. farming system, waste management system, input supply system, etc.) and interacts with other key systems (e.g. energy system, trade system, health system, etc.). Therefore, a structural change in the food system might originate from a change in another system; for example, a policy promoting more biofuel in the energy system will have a significant impact on the food system.

A **sustainable food system (SFS)** is a food system that delivers food security and nutrition for all in such a way that the economic, social and environmental bases to generate food security and nutrition for future generations are not compromised. This means that:

- It is profitable throughout (**economic sustainability**);
- It has broad-based benefits for society (**social sustainability**); and
- It has a positive or neutral impact on the natural environment (**environmental sustainability**).

A sustainable food system lies at the heart of the United Nations' Sustainable Development Goals (SDGs). Adopted in 2015, the SDGs call for major transformations in agriculture and food systems in order to end hunger, achieve food security and improve nutrition by 2030. To realize the SDGs, the global food system needs to be reshaped to be more productive, more inclusive of poor and marginalized populations, environmentally sustainable and resilient, and able to deliver healthy and nutritious diets to all. These are complex and systemic challenges that require the combination of interconnected actions at the local, national, regional and global levels.

FAOは、この図を
The Food System Wheel
と呼んでいる。

- ★中心部の金色部分に、哲学
- ★中間の青色部分に、食と栄養
を供給する実際プロセスと、
供給を可能にする要素
(ヒト、モノ、カネ、知識)
- ★周辺の色部分は自然環境
- ★赤茶色い部分は人的、社会的環境

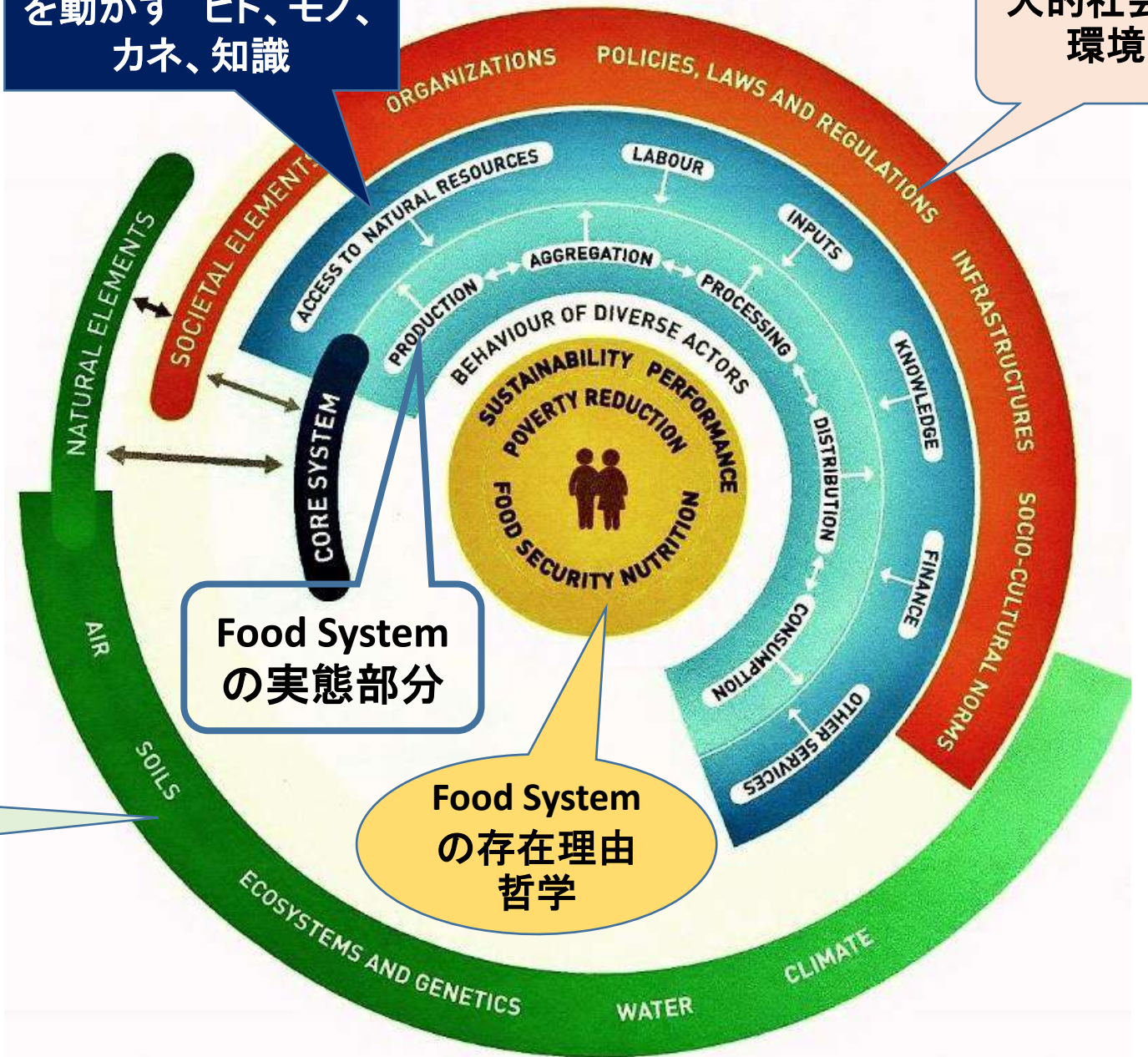
ここが Food system
を動かす ヒト、モノ、
カネ、知識

人的社会的
環境

地球環境
ファクター

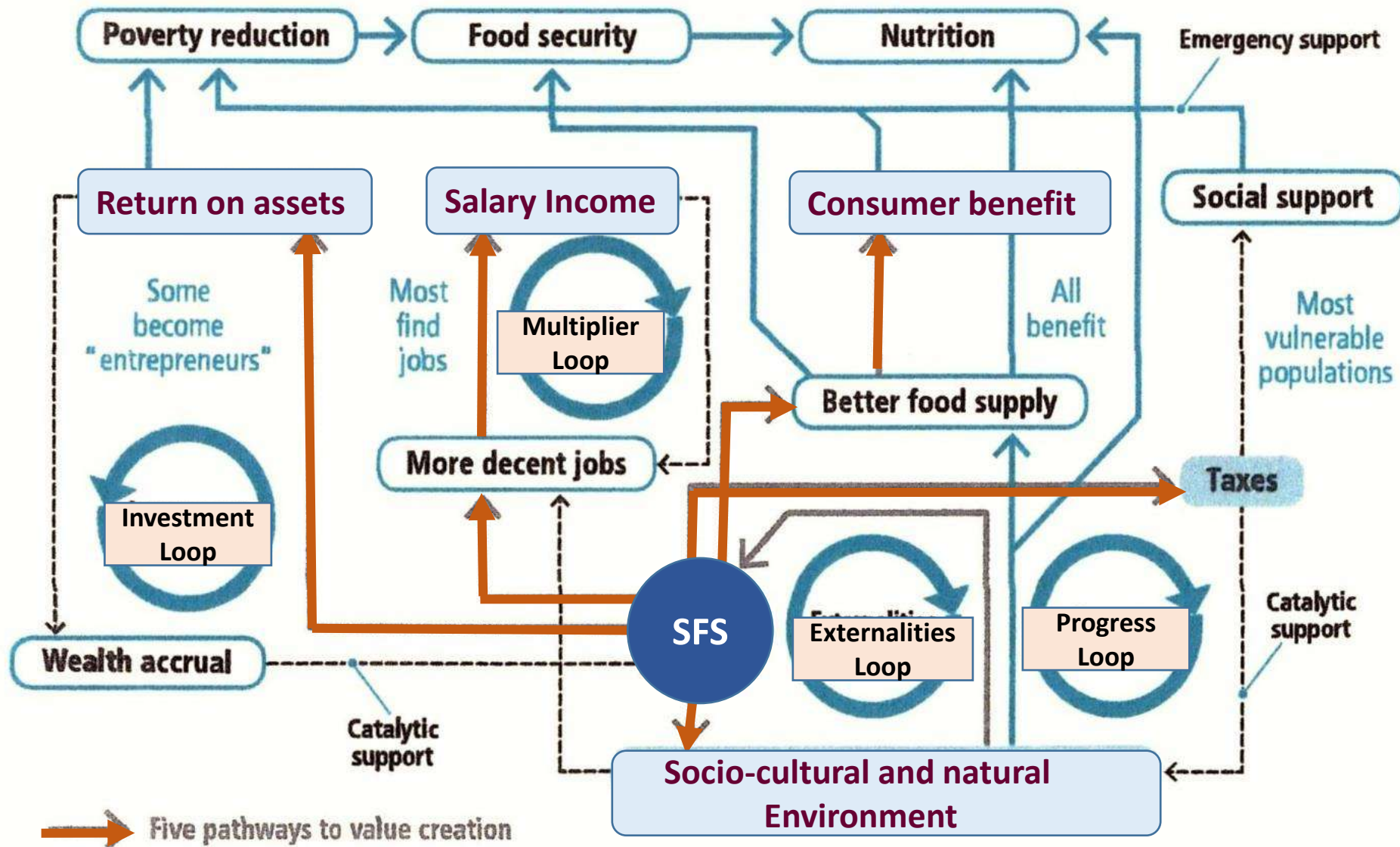
Food System
の実態部分

Food System
の存在理由
哲学



FAO “Sustainable food systems: Concept and framework” に示されたシステム形成のパラダイム

FIGURE 3 THE FOOD SYSTEM DEVELOPMENT PARADIGM



国連 Food Systems Summit (FSS) 2021の開催 (2019年総会で決定)

- * 9月にニューヨークで開催。 数日間の多彩な会議・講演行事
- * 国連事務総長アントニオ・グテレス (Antonio Guterres) 氏が主催招集。
- * サミット実行への特使として、アグネス・カリバタ (Agnes Kalibata) 氏を任命。
- * 事務局本部はナイロビに、その支所をローマとニューヨークに置く。

◆ 実行の為の組織体制も既に出来、昨年半より活動している。「事務局」の元に……

「Advisory委員会」 「科学評議会」 実行部隊の「FSS Champions」

もう1つ 「FSS Dialogue Team」と言うチームも。

★ 7月にローマで Pre-Summit 開催

* Agnes Kalibata氏について: 現職は2014年から「アフリカ緑の革命同盟 (AGRA)」の総裁。その前は2008年からルワンダ国の農業相を務めた。AGRAの前総裁は元国連事務総長のアナン氏。アフリカの農業開発は順調とも言えないことも有りAGRAに批判的な意見も多いが、アフリカを初めとする途上国の食糧栄養状況改善活動の中心団体の1つであることは間違いない。日本のJICAとの協業も多い。



§ 3. Food Systems Summit とは何か？ 誰が何を？

国連事務総長 Antonio Guterres 氏の思いをまとめると:



- ① 発端は2014年の **ICN2** である。ここで決め、2016年国連総会で宣言した **「栄養に関する行動の10年」**。もう1つは2015年の御存じ **SDGs** だ。サミットは、我々のこれらのコミットメントを果たす重要な機会だ。
- ② 世界の人々に十分な食糧と栄養の提供を可能にするのは、国、地域、関わる産業によっても極めて多様で、かつ非常に複雑な **“Food Systems”** というモノを良く機能させることだ。国や地域ごとに、関係する人々と専門家を巻き込んで Food Systems を保ち、変容させるにも、やはり多様なアプローチがある。サミットを機会に いわば Systems アプローチを活性化させ、多くの人を巻き込み、結果として、その多くの人々にベネフィットが行き渡ることを望んでいる。
- ③ 機能や立場の異なる多様な人々を巻き込んで進める／様々な Crisisからの回復力も必要／地球環境との折り合いは必須と……注文は多い。 **Trade-Offs** も当然多い。サミットの際に、多様な経験と、知識を持ち込んで欲しい。

Food Systems Summit とは何か？(続) 5つの目的 と Action Tracks

1. **Ensuring access to safe and nutritious food for all** (enabling all people to be nourished and healthy, progressive realization of the right to food)
2. **Shifting to sustainable consumption patterns** (promoting and creating demand for healthy and sustainable diets, reducing waste)
3. **Boosting nature-positive production at sufficient scale** (acting on climate change, reducing emissions and increasing carbon capture, regenerating and protecting critical ecosystems and reducing food loss and energy usage, without undermining health or nutritious diets)
4. **Advancing equitable livelihoods and value distribution** (raising incomes, distributing risk, expanding inclusion, promote full and productive employment and decent work for all)
5. **Building resilience to vulnerabilities, shocks and stress** (ensuring the continued functionality of healthy and sustainable food systems)

安全で適切な栄養価値を持つ食品に世界の誰もがアクセス可能にする

消費の仕方と食物廃棄物の問題を实际的に改善

地球にネガティブな影響を遺さない食糧と食品の生産・製造を進める

Food Systemsで働く人々の生計も含め、人々の生活や雇用が十分維持されること

ショックや Crisis に対する柔軟な回復力を持ったシステム

サミットの情報は、関係業界団体情報の他に、国連が発行した “Overview”、GDP年次会議でのサミット副特使Martin Frick氏の講演等 から入手出来る。

Food Systems Summit とは何か？(続) **実行体制**

「これは、人々が Solutionを求めて集まるサミットだ」 (Dr.M.Frick)
前記の「5つの目的」に沿った課題について、行政責任者、民間のステークホルダー達や学会等々から、人々を集めて、Solution を求めて、学習、情報交換、議論、行動を行う。これらはサミット前にスタートさせる。

牽引する、人の仕組みには・・・

- ☆ Advisory Committee … サミット前後も含め、
企画・運営に関する提言 (既に27人指名)
- ☆ Scientific Group … 部門別科学集団
- ☆ Food Systems Summit Champions Network … サミット前中後の議論・行事を実際に進めて行く人材グループ。各国、各種Stakeholdersから既に50名以上。さらに増やす。



UN FOOD SYSTEMS SUMMIT 2021

“Transforming food systems is crucial for delivering all the Sustainable Development Goals.”

— ANTONIO GUTERRES, UN Secretary-General

CONTEXT

Rich or poor, young or old: Everyone needs to eat. Nutritious and safe food allows for healthy and productive lives. It's as important as the air we breathe and the water we drink.

The term “food system” refers to the constellation of activities involved in producing, processing, transporting and consuming food. Food systems touch every aspect of human existence. The health of our food systems profoundly affects the health of our bodies, as well as the health of our environment, our economies and our cultures. When they function well, food systems have the power to bring us together as families, communities and nations.

But too many of the world's food systems are fragile, unexamined, and vulnerable to collapse, as millions of people around the globe experienced first-hand during the COVID-19 crisis. When our food systems fail, the resulting disorder threatens our education, health and economy, as well as human rights, peace and security. As in so many cases, those who are already poor or marginalized are the most vulnerable. Some countries and regions face unique circumstances, which can increase their vulnerability.

In 2021, UN Secretary-General António Guterres will convene a Food Systems Summit as part of the Decade of Action to achieve the Sustainable Development Goals (SDGs) by 2030. With only 10 years remaining, many of the 17 SDGs remain far out of reach. In many cases, unsafe or unsustainable food systems are part of the problem.

The UN Food Systems Summit will serve as a turning point in the world's journey to achieve all the SDGs. We know what we need to do to get back on track: Scientists agree that transforming our food systems is among the most powerful ways to change course and realize the vision of the 2030 Agenda. Rebuilding the food systems of the world will also enable us to answer the UN Secretary-General's call to “build back better” from COVID-19. We are all part of the food system, and so we all must come together to bring about the transformation that the world needs.



Food Systems Summit の 準備段階から始める事

”Food Systems Summit“ の様々な事前行事や会議の進め方も、各国政府だけでなく、民間事業者グループ、農業者団体、アカデミア、社会活動団体等々を“include” しつつ進めて行く。 代表的な民間産業に対する“inclusive”の例は……

- ①2020年7月以降、国連関係機関担当と様々な食品業界を代表するグループ(穀物、畜肉、乳製品等の個別産業団体や、複合的食品団体も)との折衝も行う。
 - ②9月初旬に 約60名の食品企業トップが呼ばれ、“**Fire Starter Meeting**”と言う名称の **CEO Session**開催。Dairy関係から3名出席 (米国LOL、中国蒙牛、ケニヤPalmhouse)
 - ③Regional Consultation実施・・・国連の大会規模の会議ではよく行われる主催者からの趣旨説明と、参加者からの意見聴取。このサミットでは“**Food Systems Dialogues**”の名称で、国別に行う予定。さらに、国の枠とは別の独立セッションも受け付けると。
- ◆ 2021年7月に **Pre-Summit** 開催。

以下 参考スライド

参考 食品業界が接触する、国連とその関係機関 (1)

◆ 国連が目指すもの。世界に対する 2つの視線 …

① 世界の平和と安全

② 経済社会開発 ……世界各地域隅々。社会開発に人権や人の基本的自由も含める

◆ 国連本体の6つの主要機関

① 総会 ② 安全保障理事会 ③ 経済社会理事会 (ECOSOC)

④ 事務局 ⑤ 国際司法裁判所 ⑥ 信託統治理事会

☆ ECOSOC は…

* 国連の多くの実務機関の経済、社会、文化、教育、保健…に関する諸活動を把握し、調整する。

* そして、多様なNGO とも協議し、国連の諸会議等へのアクセスの窓口にもなる。

5000を超える NGOにConsultative Status(協議資格)を与え、民間に窓を開いている(**inclusive**)。

例えば**GDP** は Special Consultative status を得ている。 **IDF** は Roster。

* 毎年7月に SDGs各項目の進捗等を議論する “High Level Political Forum”(HLPF)を開催。

このForumにGDPもオブザーバー参加出来るだけでなく、問題提起を行う“Side Event”を催すことも可能である。

◆ そして 国連の「専門機関」…18の自治機関。 その内食品業界とPartnershipを組むのは:

① 国連食糧農業機関 (FAO) と ② 国際農業開発基金 (IFAD)

業界として注意深く付き合っているのは : 世界保健機関 (WHO)

◆ **FAO中心の国連関連機関、委員会、Platform等の活動体**

- ① **FAO: (国連食糧農業機関)**・・・世界の第1次産業の先導、特に開発途上国での支援から、土地と水、食糧安全保障、栄養、安全、貿易・・・をカバーする。

例えばDairyセクターはFAO本部では「livestock(家畜)」部門と、「栄養とFood System」部門に接触。

- ② **IFAD: (国際農業開発基金) International Fund for Agricultural Development**・・・農村の経済向上と食糧供給促進に融資するFundであるが、融資決定の為の産業や事業のSustainabilityの評価も。

- ③ **国連CFS:「世界食糧安全保障委員会」 UN Committee on World Food Security**・・・

食糧の安定供給に関する、組織的には国連本体の中の特別委員会であったが、現在はFAOの委員会とも表現されている。

- ④ **GASL : The Global Agenda for Sustainable Livestock**

FAOのLivestock (家畜)部門主導で作られたPlatform。家畜飼養を含む食糧生産の環境的、社会・経済的 Sustainabilityに取り組む。

◆ **地球環境・気候変動関係の2つのプログラム**

- ① **COP会議**: UN Framework Convention on Climate Change (UNFCCC)・・・GDPとは、Dairyの気候変動への影響評価と対策を研究調査し FAOの名前で報告

- ② **UNEP(国連環境計画) UN Environment Program** ・・・ケニア・ナイロビに本部

(参考) 国連関係機関と、Food Systems議論 (続き) 経過を見ると (1)

現在の Food Systems 議論の発端は 2014年 のICN2

◆ 2014年 国連本部、FAO,WHO他で、ICN2(第2回国際栄養会議 International Conference on Nutrition)を開催(ローマ)。2点の成果物……

① The Rome Declaration on Nutrition:「栄養に関するローマ宣言」

② The Framework for Action :「行動の為の枠組み」

(認識) 世界にはあらゆる形態の栄養不良が蔓延していたが、この時点の “Food Systems“が要因の1つである。飢餓、貧困や社会課題の為にも、Healthy Dietsを promoteする為にも **Food Systems** を transformすることが必要と議論した。

10のコミットを提示。「枠組み」には60の政策やプランのoptions

◆ 2015年 国連Agenda 2030、そしてSDGs17項目制定。

◆ 2016年には、2014年ICN2の結果を受けて、国連総会で、FAO/WHOの名で

“栄養の為の行動の10年:”Decade of Action on Nutrition(2016–2025)”を宣言。

- ◆ **2017年** CFS(食糧安全保障委員会)の HLPE が、後の**Voluntary Guidelines on Food Systems for Nutrition (VGFSyN)** 作成に繋がる考え方をまとめた **HLPE#12レポート**：を発刊。世界の栄養課題とFood Systemsに関して实际的、行動主義的な議論を提示。
- ◆ **2018年** **FAO**が、“**Sustainable food systems: Concept and framework**”を発刊。
 - Food systemsやSustainableなその定義。+ Systemsを形成するアプローチ、性能の良いSystemsが有ることのベネフィット等々を記す。
- ◆ 栄養とFood Systems論議にも、WHOの影響が強い Healthy Dietsといった言語が混ざってくる。

2019年に、FAO/WHOが、7月にRomeで専門家会議：

“**Sustainable and Healthy Diets とは何か**” を開催。

★多様なセクター間でも意見の分かれることが多く、国連のメンバー国からもFAOとWHOでガイドを示すことが要請された。

★同年、“**Sustainable Healthy Diets: Guiding Principles**”発刊

◆ 2019年12月の国連総会、農業・食糧・栄養分野での決定確認事項(A/RES/74/242)

その中に・・・

* 色々な食品産業の多様な: 社会形成や経済発展への、影響も記述

* CFSによるFood Systemsへの自主ガイドラインをCFS47までに完成させること

★ 2021年の UN Food Systems Summit 開催を決定.

◆ 同年 CFS46

★ CFSは、VGFSyN: Voluntary Guideline on Food Systems and (for) Nutrition

の「ゼロ Draft」を提示。次いで“Draft 1”を発行した。

◆ 2020年 CFSは、VGFSyN の“Draft 2 for Negotiation”を3月完成、「内容交渉」へ

★ CFSのHLPEが、2020年6月までに、HLPE Report No.15 “FOOD SECURITY AND

NUTRITION: Building A Global Narrative Toward 2030” を発刊。

◆ 2021年2月11日 10か月以上の長い、困難な「内容交渉」の末

★ CFS47で、最終稿を採択し、公表した。